


相場変動にも揺るがない 60歳から資産活用の考え方

2020年4月14日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史



相場変動にも揺るがない

ルールを決めておくと安心

投資の極意—安く買う

投資で儲けるためには

安く買って、高く売る

投資で儲けるためには

安く買って

投資の極意—安く買う

時間の概念を入れる

安いときに買って、
高くなったら買わない

投資の極意—安く買う

時間と数量の概念を入れる

安いときに(たくさん)買って、
高くなったら(少ししか)買わない

定額の積立投資

価格が上がると買える量が少なくなり、
価格が下がると買える量が多くなる

投資の極意—高く売る

投資で儲けるためには

高く売る

投資の極意—高く売る

時間の概念を入れる

高いときに売って、
安くなったら売らない

投資の極意—高く売る

時間と数量の概念を入れる

高いときに(たくさん)売って、
安くなったら(少ししか)売らない

定率引き出し

価格が上がって保有する残高が増えれば、
その分多く引き出す(売却する)
価格が下がって保有する残高が減れば、
その分、少なく引き出す(売却する)

資産形成と資産活用に分ける

資産形成

安く買う時代

定額積立投資

資産活用


高く売る時代

定率引き出し

30歳

60歳

95歳



相場変動にも揺るがない

資産形成で大切な2つのこと

資産形成で大切なことは ①年収が大切

毎年の資
産形成額



年収



資産形成
比率

資産形成で大切なこと ②目的と手段を混同しない

資産形成

資産活用

資産運用：株式、投資信託など

貯蓄：現金、銀行預金など


目的

手段

30歳

60歳

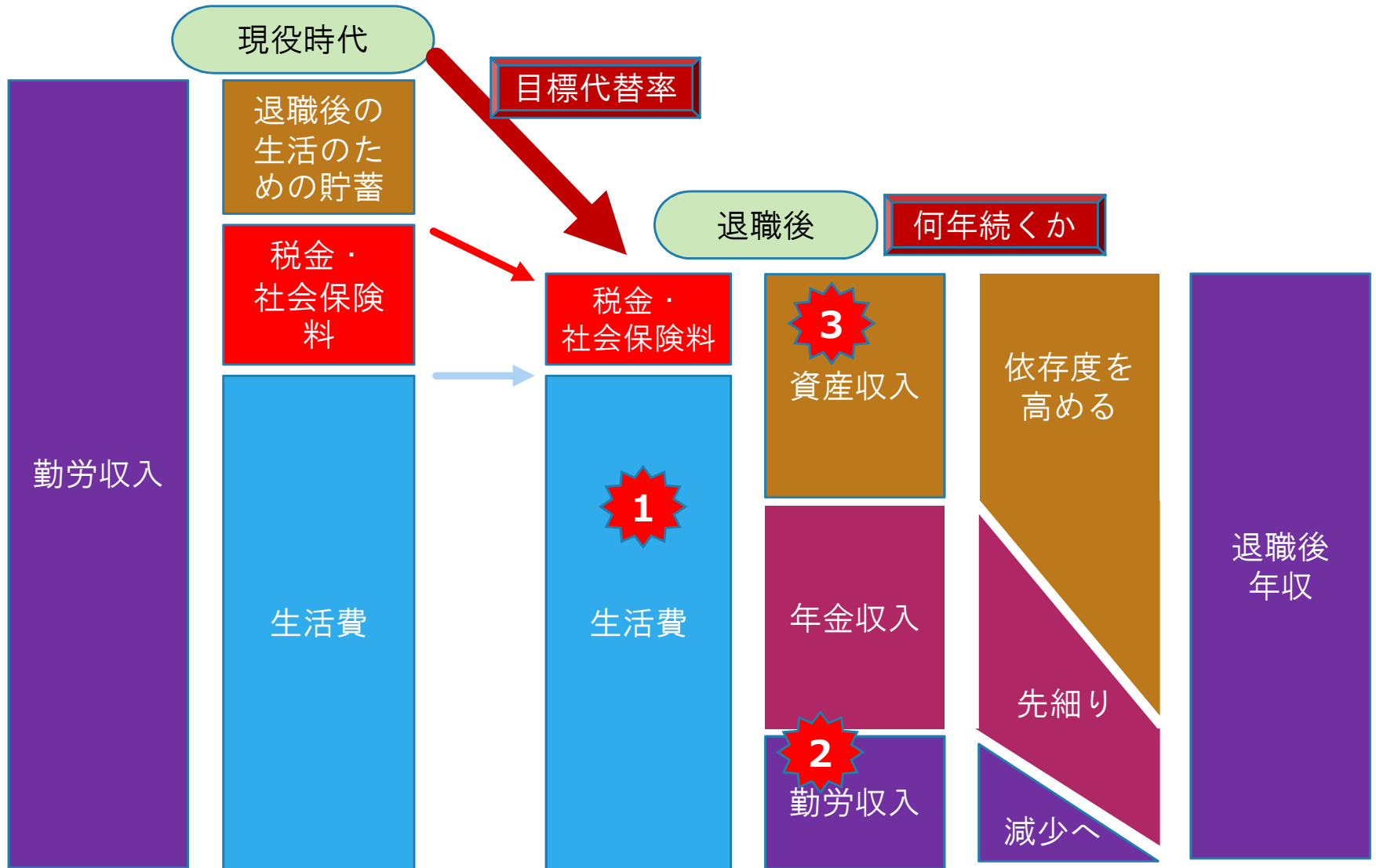
95歳



60歳からの資産活用の考え方

資産活用で大切な3つのこと

資産活用で大切なこと ①退職後生活の3つの収入

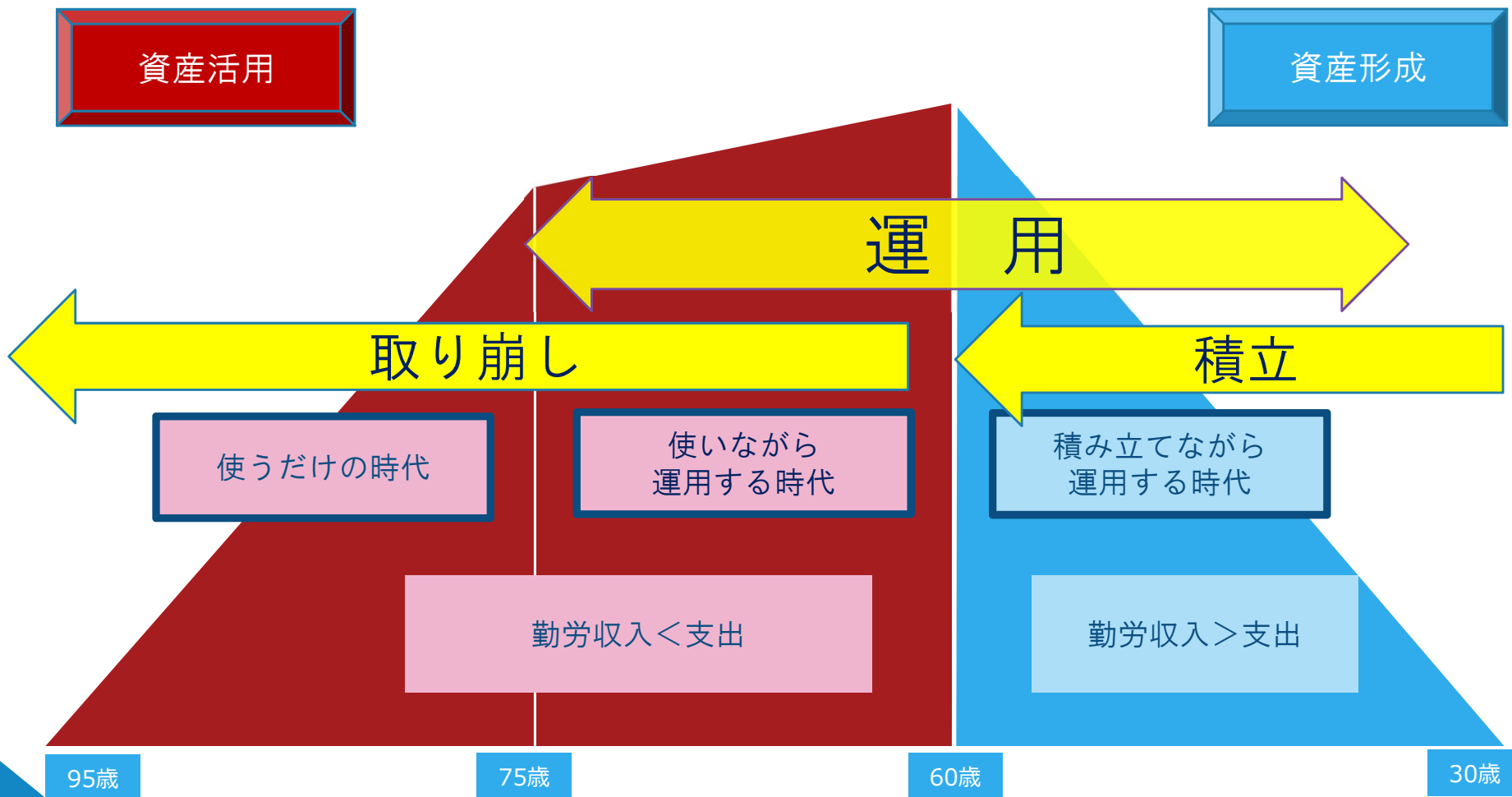


東京・名古屋・大阪から地方都市に移住した306人の地方都市移住に対する評価

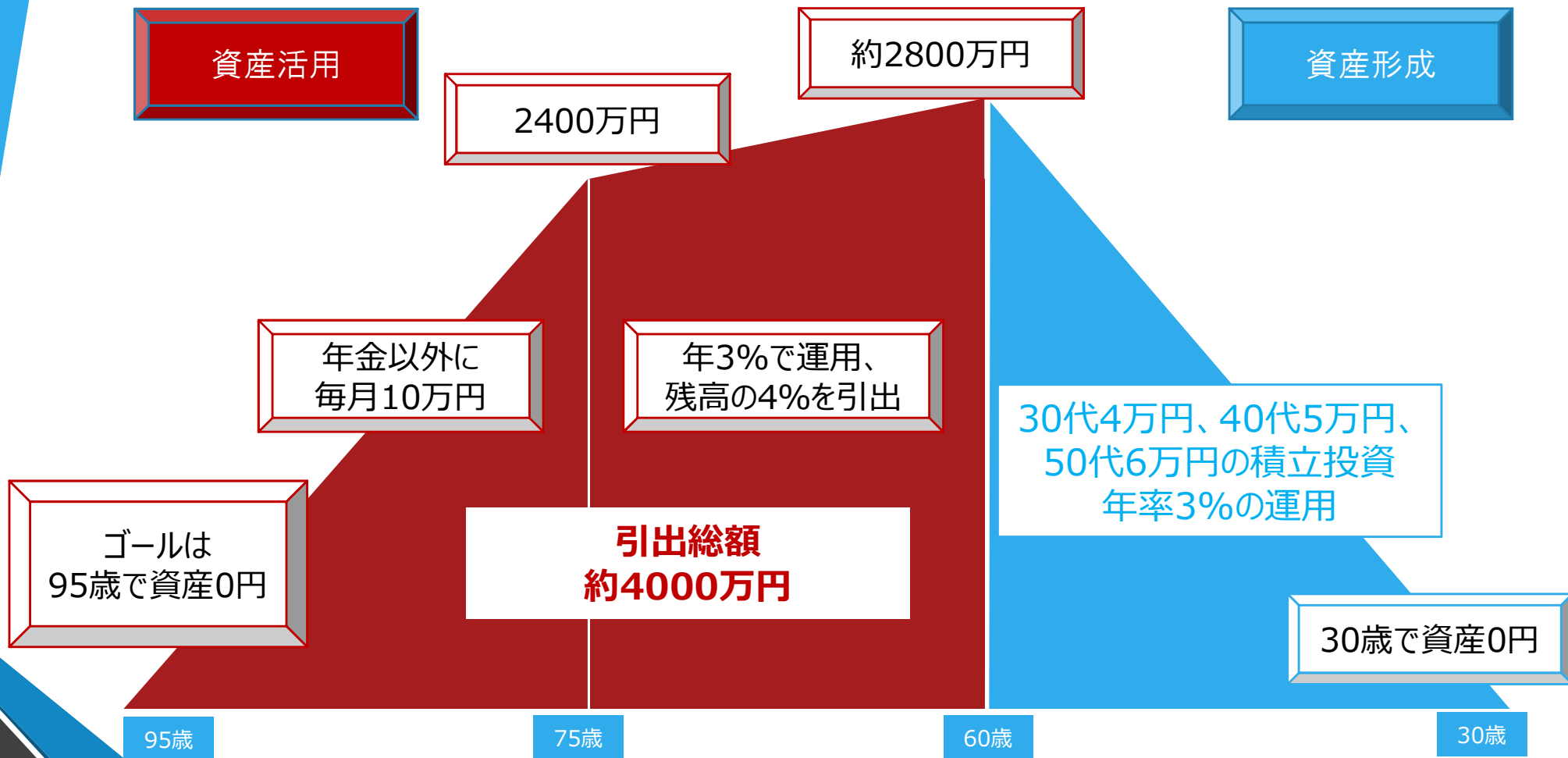
良かったと思う（253人）		想定していたほど良いと思えなかった（53人）	
	82.7%	17.3%	
その理由（最も大きな理由）			その理由（複数回答可）
生活費の削減が可能になった	41.1%	43.7%	移住の必要性を考えたが、実際の移住になかなか踏み切れなかった
新しい趣味などが見付き、生活にゆとりができた	29.6%	19.3%	地方都市への移住のためのコストがかかりすぎると判断した
新しい人とのネットワークができた	12.3%	20.8%	自分が納得できる移住先が見つからなかった
家族・夫婦関係が良くなった	8.7%	19.5%	配偶者の反対を説得できなかった
その他	8.3%	11.3%	移住先の受け入れ態勢ができていないと思った
		11.9%	その他

（出所）合同会社フィンウェル研究所、地方都市移住アンケート、2019年11月

生涯におけるお金との向き合い方 = 逆算の資産準備



逆算の資産準備 : 数字を入れてみよう



資産活用で大切なこと ③定率引き出し

単位：%、万円

定額引き出し	定額引き出し 前半プラスタイプ				定額引き出し 前半マイナスタイプ					
	年数	収益率	期首残高	引出額	期末残高	年数	収益率	期首残高	引出額	期末残高
			1000.0	40			1000.0	40		
1	10%	1000.0	40.0	1056.0	-10%	1000.0	40.0	864.0		
2	15%	1056.0	40.0	1168.4	-2%	864.0	40.0	807.5		
3	7%	1168.4	40.0	1207.4	-10%	807.5	40.0	690.8		
4	14%	1207.4	40.0	1330.8	10%	690.8	40.0	715.8		
5	2%	1330.8	40.0	1316.6	-5%	715.8	40.0	642.1		
6	-5%	1316.6	40.0	1212.8	5%	642.1	40.0	632.2		
7	10%	1212.8	40.0	1290.1	-10%	632.2	40.0	532.9		
8	14%	1290.1	40.0	1425.1	14%	532.9	40.0	562.0		
9	-10%	1425.1	40.0	1246.6	10%	562.0	40.0	574.1		
10	5%	1246.6	40.0	1266.9	-5%	574.1	40.0	507.4		
11	-5%	1266.9	40.0	1165.6	2%	507.4	40.0	476.8		
12	10%	1165.6	40.0	1238.1	14%	476.8	40.0	497.9		
13	-10%	1238.1	40.0	1078.3	7%	497.9	40.0	490.0		
14	-2%	1078.3	40.0	1017.6	15%	490.0	40.0	517.5		
15	-10%	1017.6	40.0	879.8	10%	517.5	40.0	525.2		
平均収益率	3.0%		600.0		3.0%		600.0			
標準偏差	9.0%				9.0%					
		期末残高と引出額合計					期末残高と引出額合計			
				1,479.8					1,125.2	

15年間の収益率の並べ方を逆転させてみると、

前半にマイナスが来ると15年後の残高が大きく棄損

前半にマイナスが来ると、引出総額と期末残高の合計も少なくなる。その差は354万円強

注)計算の一例を示したもので、将来の予測を保証するものではありません。手数料、税金を考慮せず。

資産活用で大切なこと ③定率引き出し

単位：%、万円

定率引き出し	定率引き出し 前半プラスタイプ				定率引き出し 前半マイナスタイプ					
	年数	収益率	期首残高	引出額	期末残高	引出率	期首残高	引出額	期末残高	
			1000.0	4%		1000.0	4%			
1	10%	1000.0	40.0	1056.0	-10%	1000.0	40.0	864.0		
2	15%	1056.0	42.2	1165.8	-2%	864.0	34.6	812.9		
3	7%	1165.8	46.6	1197.5	-10%	812.9	32.5	702.3		
4	14%	1197.5	47.9	1310.6	10%	702.3	28.1	741.6		
5	2%	1310.6	52.4	1283.3	-5%	741.6	29.7	676.4		
6	-5%	1283.3	51.3	1170.4	5%	676.4	27.1	681.8		
7	10%	1170.4	46.8	1235.9	-10%	681.8	27.3	589.1		
8	14%	1235.9	49.4	1352.6	14%	589.1	23.6	644.7		
9	-10%	1352.6	54.1	1168.6	10%	644.7	25.8	680.8		
10	5%	1168.6	46.7	1178.0	-5%	680.8	27.2	620.9		
11	-5%	1178.0	47.1	1074.3	2%	620.9	24.8	607.9		
12	10%	1074.3	43.0	1134.5	14%	607.9	24.3	665.3		
13	-10%	1134.5	45.4	980.2	7%	665.3	26.6	683.4		
14	-2%	980.2	39.2	922.2	15%	683.4	27.3	754.5		
15	-10%	922.2	36.9	796.8	10%	754.5	30.2	796.8		
平均収益率	3.0%		689.2		3.0%		429.0			
標準偏差	9.0%				9.0%					
		期末残高と引出額合計					期末残高と引出額合計			
				1,486.0					1225.8	

15年間の収益率の並べ方を逆転させてみると、

収益率の並び方に関係なく、等しい金額の残高になる

ただ15年間の引出総額は少なくなる。その差は260万円強

注)計算の一例を示したもので、将来の予測を保証するものではありません。手数料、税金を考慮せず。

資産活用で大切なこと ③定率引き出し

単位：%、万円

引き出しに 猶予を	定率引き出し前半マイナスタイプ				定率引き出し前半マイナス 引出猶予タイプ					
	年数	収益率	期首残高	引出額	期末残高	年数	収益率	期首残高	引出額	期末残高
1	-10%	1000.0	40.0	864.0	-10%	1000.0	0.0	900.0		
2	-2%	864.0	34.6	812.9	-2%	900.0	0.0	882.0		
3	-10%	812.9	32.5	702.3	-10%	882.0	0.0	793.8		
4	10%	702.3	28.1	741.6	10%	793.8	31.8	838.3		
5	-5%	741.6	29.7	676.4	-5%	838.3	33.5	764.5		
6	5%	676.4	27.1	681.8	5%	764.5	30.6	770.6		
7	-10%	681.8	27.3	589.1	-10%	770.6	30.8	665.8		
8	14%	589.1	23.6	644.7	14%	665.8	26.6	728.7		
9	10%	644.7	25.8	680.8	10%	728.7	29.1	769.5		
10	-5%	680.8	27.2	620.9	-5%	769.5	30.8	701.7		
11	2%	620.9	24.8	607.9	2%	701.7	28.1	687.1		
12	14%	607.9	24.3	665.3	14%	687.1	27.5	752.0		
13	7%	665.3	26.6	683.4	7%	752.0	30.1	772.5		
14	15%	683.4	27.3	754.5	15%	772.5	30.9	852.8		
15	10%	754.5	30.2	796.8	10%	852.8	34.1	900.6		
平均収益率	3.0%		429.0		3.0%		363.9			
標準偏差	9.0%				9.0%					
		期末残高と引出額合計					期末残高と引出額合計			
				1225.8				1264.5		

収益マイナス局面での引き出しを猶予する

15年後の残高の毀損が少なくなる。引出総額は少ないものの、年平均引出額は増える

ただ15年間の引出総額も多くなる。その差は39万円弱

注)計算の一例を示したもので、将来の予測を保証するものではありません。手数料、税金を考慮せず。

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所



<ご注意事項>

- ◆ 本資料及び講義は、情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
- ◆ 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。また、本資料は、平易に解説・記述することを目的としているため、必ずしも網羅的なものではなく、将来予告なしに内容が変更される可能性があります。過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- ◆ 本資料の一切の権利は講師に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ複製または転載等はできません。